

2021年度 第2四半期決算説明会

2021年11月25日

【証券コード 4401】



2021年度 決算説明

第2四半期

2021年4月1日～2021年9月30日

代表取締役社長 城詰 秀尊

1. 2021年度上期 連結業績 … P 3
2. 2021年度 連結業績予想と事業施策 … P13
3. ご参考 … P27
 - ・ 中期経営計画『ADX 2023』進捗状況
 - ・ 海外売上高

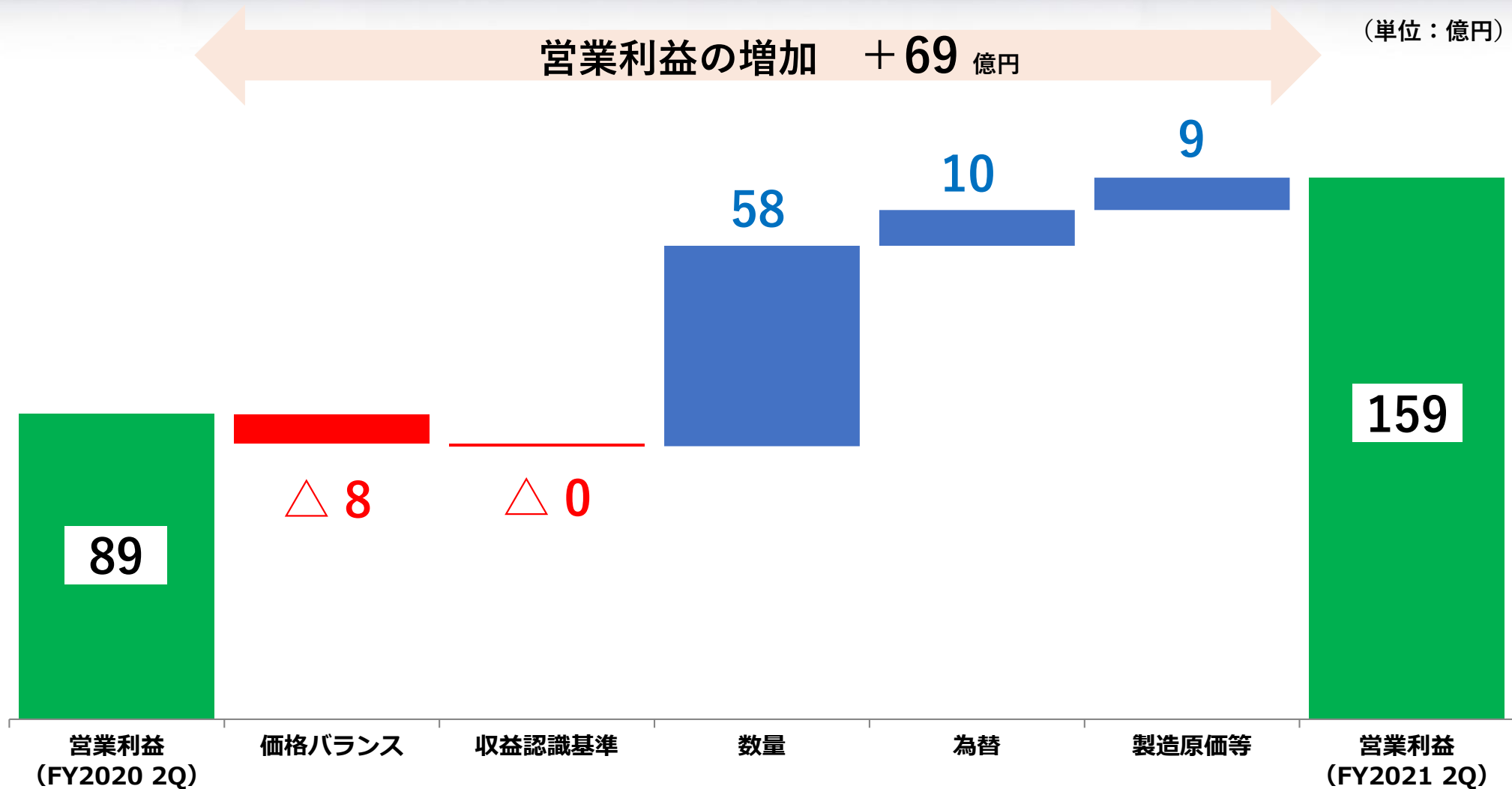


1. 2021年度上期 連結業績

(単位：億円)

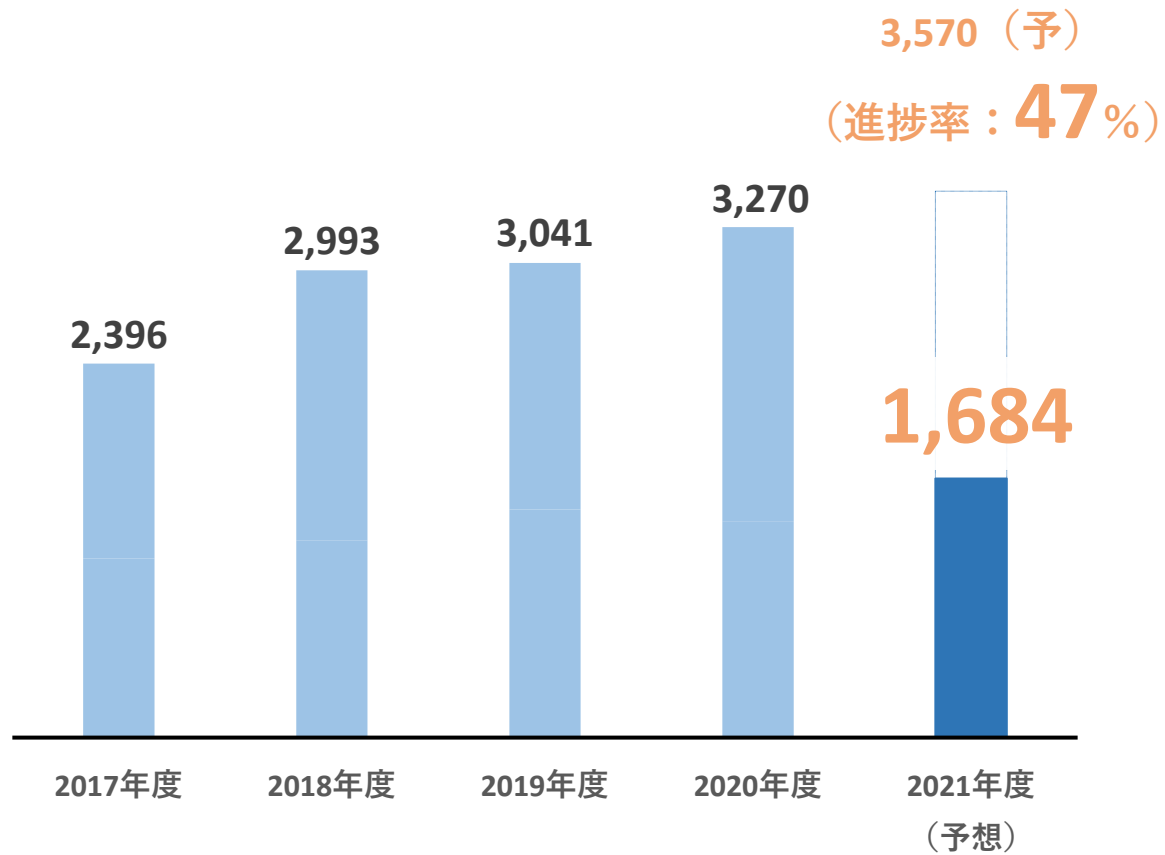
	2020年度 上期	2021年度 上期	増減	増減率 (%)
売上高	1,386	1,684	297	21.5
営業利益	89	159	69	77.6
経常利益	83	161	77	92.8
四半期利益	57	106	49	86.7
1株利益	55.4円	103.5円	48.0円	

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

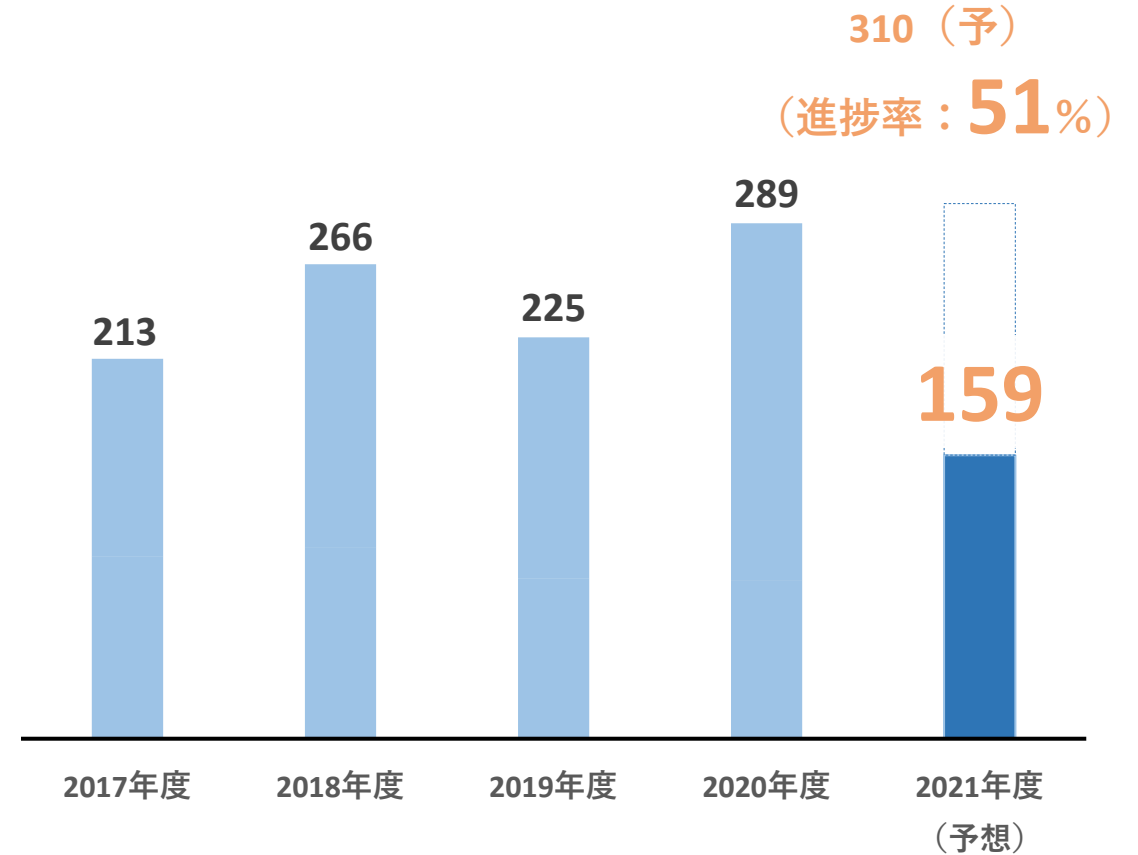


注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高



営業利益



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

2021年度上期 連結業績（セグメント別）

2021年度上期 連結業績

（単位：億円）

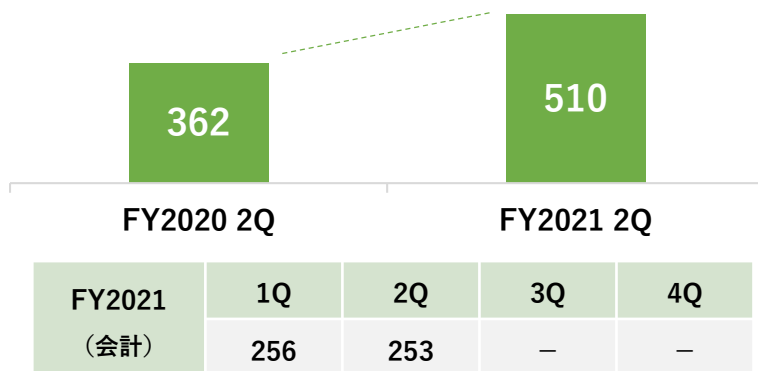
	2020年度 上期	2021年度 上期	増減	増減率（%）
売上高	1,386	1,684	297	21.5
化学品	729	963	234	32.1
樹脂添加剤	362	510	147	40.7
情報・電子化学品	133	179	46	34.7
機能化学品	233	273	40	17.2
食品	327	359	32	9.9
ライフサイエンス	289	319	29	10.1
その他	39	41	1	4.4
営業利益	89	159	69	77.6
化学品	71	142	70	97.6
樹脂添加剤	23	50	26	114.4
情報・電子化学品	31	56	25	83.0
機能化学品	17	35	17	101.0
食品	2	1	△ 0	△ 36.9
ライフサイエンス	10	10	0	1.2
その他	4	4	0	4.5

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

◆ 売上高

（単位：億円）

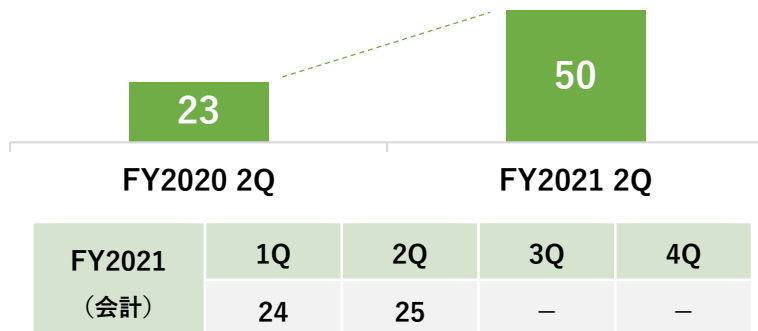
40.7%



◆ 営業利益

（単位：億円）

114.4%



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因（対前年同期）

- 自動車減産の影響を受けつつも、自動車関連製品は前年同期を上回る推移。
- 東南アジアの環境規制強化を追い風に、環境貢献製品「重金属フリー安定剤」の販売拡大。

◆ 自動車

好調 核剤、光安定剤、ゴム用可塑剤

◆ 建材・インフラ

好調 塩ビ用安定剤、重金属フリー安定剤

◆ 食品包装・医療器具

堅調 透明化剤

◆ プラスチック製品全般

好調 酸化防止剤

◆ 家電（筐体）

好調 エンジニアリングプラスチック用難燃剤

営業利益の主な要因（対前年同期）

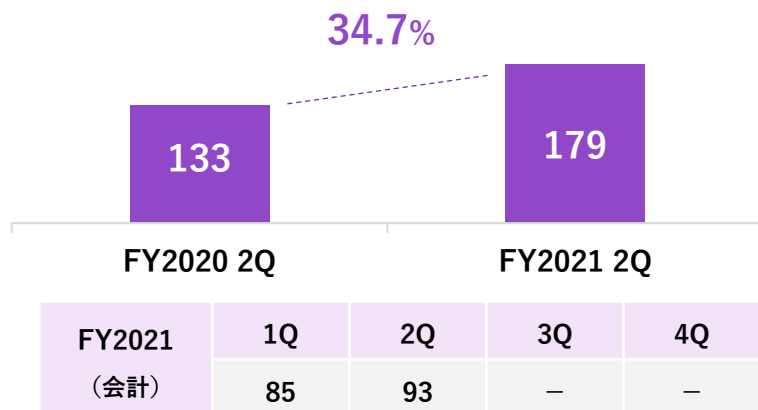
数量
25億円

為替
3億円

価格バランス
△ 2億円

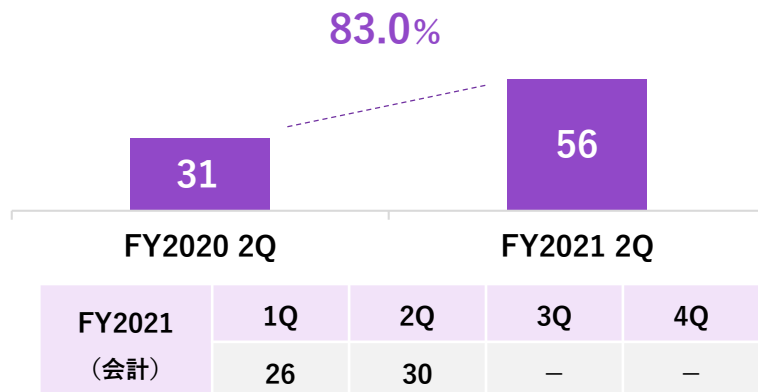
◆ 売上高

（単位：億円）



◆ 営業利益

（単位：億円）



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因（対前年同期）

- ・ 5G通信やIoT化の加速を背景に、先端DRAM向け高誘電材料の販売が順調に拡大。
- ・ TV等の巣ごもり需要一巡もパネル生産は高水準を維持し、ディスプレイ関連材料の販売が軒並み好調。

◆ 半導体

好調

先端リソグラフィ用途 光酸発生剤
先端DRAM向け 高誘電材料（新製品）

堅調

NAND向け 製品

◆ ディ스플레이

好調

光学フィルム向け 光硬化樹脂
カラーフィルター向け 光重合開始剤
ディスプレイ用 エッチング薬液

営業利益の主な要因（対前年同期）

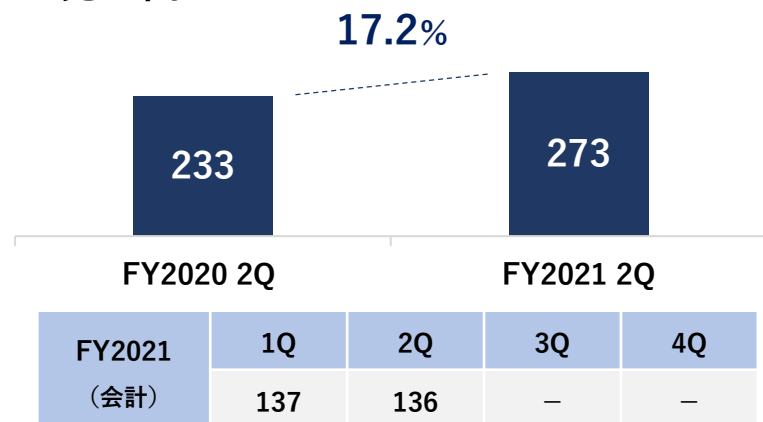
数量
19億円

製造原価等
3億円

為替
1億円

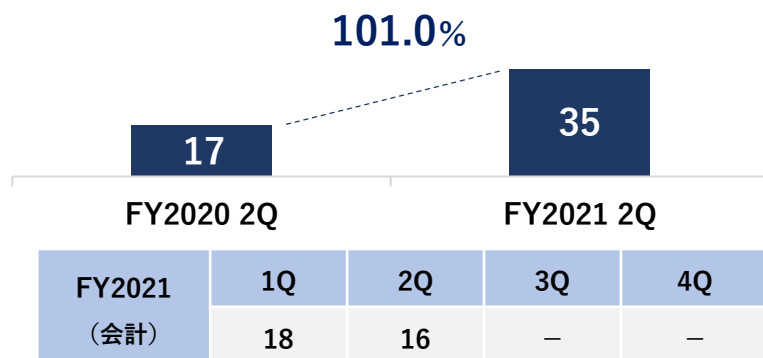
◆ 売上高

(単位：億円)



◆ 営業利益

(単位：億円)



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因 (対前年同期)

- 自動車減産の影響を受けつつも、自動車関連製品は前年同期を上回る推移。
- 特に海外の建築塗料向けに環境貢献製品「反応性乳化剤」の販売拡大。

◆ 自動車

好調

エンジンオイル用潤滑油添加剤、ゴムタイヤ伸線用潤滑剤
特殊エポキシ樹脂、エポキシ樹脂接着剤

◆ 建築塗料・食品包装ラベル

好調

水性粘・接着性樹脂向け反応性乳化剤

◆ 一般工業用

好調

過酸化製品、プロピレングリコール類

◆ 化粧品・洗浄剤

低調

界面活性剤

営業利益の主な要因 (対前年同期)

数量
15億円

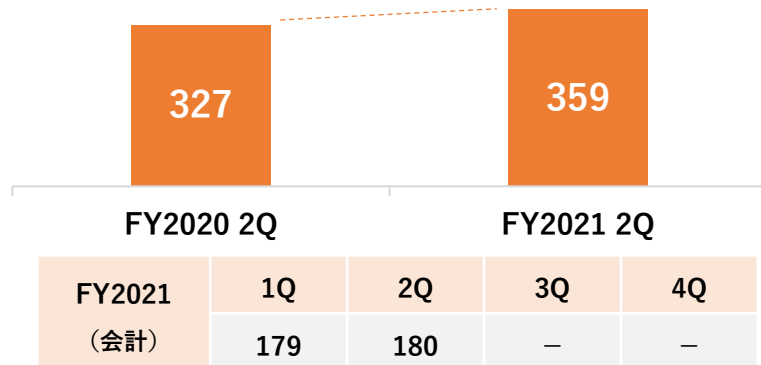
製造原価等
5億円

価格バランス
△ 4億円

◆ 売上高

(単位：億円)

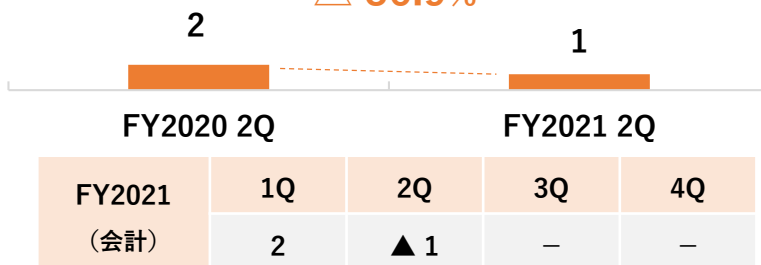
9.9%



◆ 営業利益

(単位：億円)

△ 36.9%



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因 (対前年同期)

- ・国内の菓子パン需要回復を背景に、マーガリン、ショートニング類の販売が堅調。
- ・食品ロス削減に貢献する「マーベラス」シリーズがパン等の買い置きニーズや冷凍・冷蔵など新たな用途で販売拡大。

◆ 製パン、製菓

堅調 マーガリン、ショートニング類

伸長 機能性マーガリン「マーベラス」シリーズ

◆ 洋菓子・デザート

好調 ホイップクリーム

営業利益の主な要因 (対前年同期)

価格バランス
△ 8億円

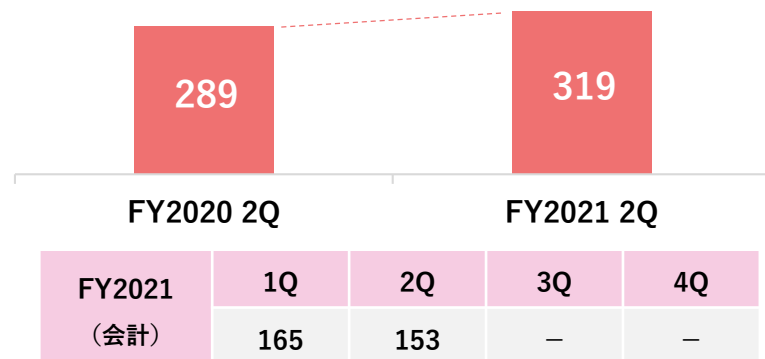
製造原価等
5億円

数量
2億円

◆ 売上高

10.1%

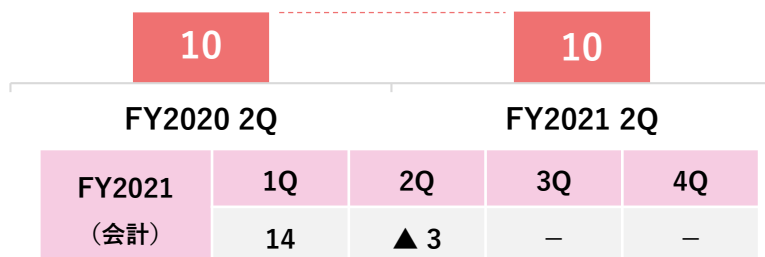
(単位：億円)



◆ 営業利益

1.2%

(単位：億円)



注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

売上高の主な要因 (対前年同期)

- ・ 国内の農薬、医薬品販売が伸び悩むも、海外農薬販売が好調で国内分をカバー。
- ・ 北米の害虫多発で殺ダニ剤の需要拡大。

◆ 農薬

好調 北米、アジア、ブラジル

低調 国内

◆ 医薬品

低調 爪白癬分野
外用抗真菌剤「ルリコナゾール」

営業利益の主な要因 (対前年同期)

価格バランス
5億円

固定費他
△5億円

為替
3億円

数量
△3億円

A decorative border consisting of various geometric shapes in red and blue, including triangles, squares, circles, and rectangles, arranged in a pattern around the edges of the page.

2. 2021年度 連結業績予想と事業施策

2021年度下期の市場環境見通し

世界経済

先進国を中心に回復が続くも、成長の勢いは鈍化し不確実性が高まっている

セグメント	マーケット	市場トレンド		関連製品
		2021年度		
		上期	上期→下期	
化学品	自動車	UP	DOWN	樹脂添加剤（添加剤、可塑剤、塩ビ用安定剤） 機能化学品（潤滑油添加剤、特殊エポキシ樹脂、塗料用添加剤、一般工業用薬剤）
	建材	UP	DOWN	
	電子デバイス	UP	UP	情報・電子化学品（半導体材料、光酸発生剤、光硬化樹脂、重合開始剤）
	化粧品	FLAT	UP	機能化学品（化粧品原料、工業薬品）
	手洗い・消毒用品	DOWN	UP	機能化学品（界面活性剤）
食品	量販店・コンビニ （パン・菓子・デザート）	UP	FLAT	食品（マーガリン、ショートニング、ホイップクリーム、フィリング）
	観光・外食産業 （土産菓子ほか）	DOWN	UP	
ライフサイエンス	農業	UP	FLAT	農薬（水稲用殺虫剤・殺菌剤、園芸用殺虫剤・殺菌剤、除草剤）

2021年度下期 事業リスク要因

中国の電力不足問題

原料調達不安

工場稼働への影響
(浙江省、江蘇省)

自動車減産

世界的な半導体不足

コロナ禍での部品調達難

原料・物流コスト増

パーム油、石化原料の高騰

物流混乱

影響が大きい事業

樹脂添加剤

食 品

樹脂添加剤

機能化学品

食 品

樹脂添加剤

機能化学品

2021年度 連結業績予想の修正

(単位：億円)

	前回予想 (2021/8/11)			修正予想 (2021/11/12)			2020年度 実績 (b)	増減	
	上期	下期	通期	上期実績	下期	通期 (a)		額 (a)-(b)	率 (%)
売上高	1,660	1,840	3,500	1,684	1,885	3,570	3,270	299	9.1
営業利益	150	150	300	159	150	310	289	20	7.0
経常利益	156	149	305	161	153	315	292	22	7.6
当期利益	99	91	190	106	93	200	164	35	21.8
1株利益	95.9円	88.1円	184.0円	103.5円	90.7円	194.2円	159.0円	35.2円	-

		2021年度下期の前提	2020年度実績
為替	円/\$	110.00	106.06
	円/€	133.00	123.70
ナフサ	円/KL	52,000	31,325

2021年度 連結業績予想（セグメント別）

(単位：億円)	前回予想 (2021/8/11)			修正予想 (2021/11/12)			2020年度 実績 (b)	増減	
	上期	下期	通期	上期実績	下期	通期 (a)		額 (a)-(b)	率 (%)
売上高	1,660	1,840	3,500	1,684	1,885	3,570	3,270	299	9.1
化学品	945	920	1,865	963	969	1,933	1,758	174	9.9
樹脂添加剤	475	455	930	510	489	1,000	938	61	6.6
情報・電子化学品	190	180	370	179	185	365	297	67	22.9
機能化学品	280	285	565	273	294	568	522	45	8.6
食品	363	387	750	359	390	750	700	49	7.1
ライフサイエンス	317	493	810	319	490	810	714	95	13.3
その他	35	40	75	41	35	77	97	△ 20	△ 20.9
営業利益	150	150	300	159	150	310	289	20	7.0
化学品	129	108	237	142	117	260	203	56	27.8
樹脂添加剤	47	35	82	50	39	90	75	14	19.9
情報・電子化学品	50	50	100	56	54	111	76	34	45.3
機能化学品	32	23	55	35	23	59	52	6	13.4
食品	5	5	10	1	▲ 1	0	13	△ 13	△ 100.0
ライフサイエンス	13	34	47	10	34	45	60	△ 15	△ 25.5
その他	3	3	6	4	0	5	11	△ 6	△ 58.1

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

自動車 (樹脂添加剤、機能化学品)

■ 自動車部材の需要動向見通し

1Q	2Q	3Q	4Q
UP	DOWN	→	→

主な自動車関連製品

エンジンオイル

- 潤滑油添加剤

車載用電子部品

- エポキシ樹脂接着剤

ケーブル・ハーネス

- 塩ビ用安定剤

バンパー・ランプ

- 核剤、光安定剤、酸化防止剤

車体フレーム・アンダーコート

- 特殊エポキシ樹脂

■ 次世代HV車・EV移行に伴う技術変化

キーマテリアルの提供

快適性 安全性	運転支援	エポキシ樹脂接着剤 (超速硬化レーザー接着システム)
	発火時の安全性確保	難燃剤
電装化	耐熱性	塩ビ用安定剤
省エネ	エネルギー効率最大化	潤滑油添加剤
	車体軽量化 (樹脂化)	核剤、光安定剤等 特殊エポキシ樹脂 (構造用接着剤)

電子デバイス (情報・電子化学品)

半導体

最先端領域

先端DRAM向け高誘電材料 (新製品)

22年から韓国での一貫生産を本格化

主力製品の安定供給に努め、さらなる需要増に対応

フォトレジスト向け光酸発生剤



- コモディティ材料 (エッチングガス・絶縁膜材料)

中国現地メーカーとのアライアンス推進

市場プレゼンス向上とライセンス契約による販路確保

ディスプレイ

業界の需要・技術動向を把握、変化に対応

中国市場シフト

サプライチェーン
変化

パネル
需給バランス

中国市場開拓

日本、韓国、台湾での販売強化

ディスプレイ用エッチング薬液

中国テクニカルサービス拠点を活用した販売強化

カラーフィルター向け重合開始剤

主要製品の国内外拡販、中国市場への展開加速

光学フィルム向け光硬化樹脂

OLED等、次世代ディスプレイ用途に注力

原料油脂の記録的高騰への対応

（パーム油、大豆油、牛脂、豚脂）

上期までの取り組み

販売価格改定（2回）

加工油脂

2021/3/15～

ショートニング、
マーガリン他

加工油脂・加工食品

2021/9/1～

ショートニング、
マーガリン、
ホイップクリーム他

- 工場の生産性向上
- 固定費圧縮
- 機能性素材の拡販

▶ 価格バランス（上期実績）：△ 8億円

2021年秋以降、業界全体で販売価格の見直しが進展

下期

下期以降も販売価格の適正化に継続して注力

下期

原料価格動向に左右されにくい事業モデルの構築

高付加価値製品の拡販

練込油脂

フィリング

クリーム

etc.

品種統合

サステナブル

今後

食品ロス削減

健康・エシカル

おいしさ

安心・安全

「マーベラス」シリーズのさらなる拡大

農薬 (ライフサイエンス)

海外

シブカムニチノーブラジル

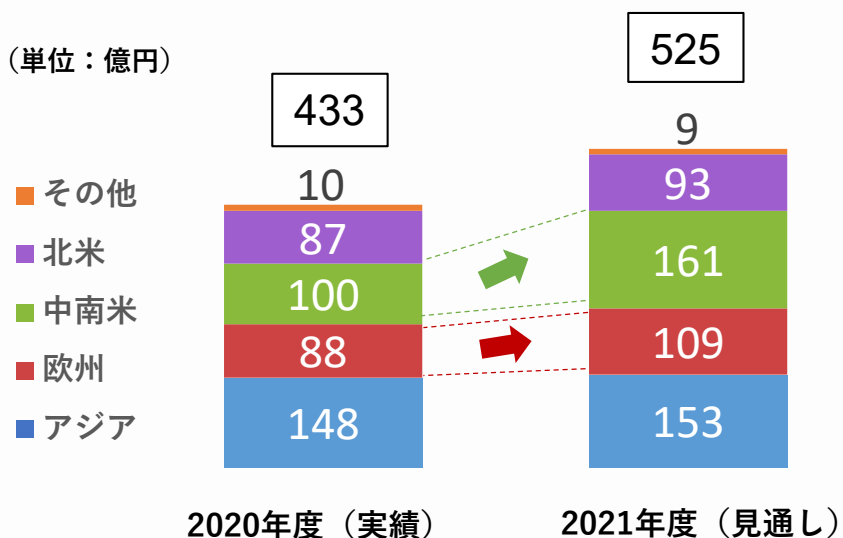
殺虫剤「フルベンジアミド」等 販売体制確立

ニチノーヨーロッパ

除草剤「ピラフルフェンエチル」 適用拡大 (販売最大化)

連結子会社「日本農薬」の海外売上高見通し (通期)

(単位: 億円)



国内

2021年10月1日～

コルテバ社製品の販売開始

- 農薬ラインナップ拡充
- 自社開発品目とのセット提案

販売強化による 市場シェア拡大

販売契約締結・パートナーシップ強化

世界シェア 3位の農薬メーカー*



* 2020年度実績

新製品開発 (樹脂添加剤)

ターゲット

環境負荷低減、循環型社会の実現



環境貢献製品

リサイクル樹脂向け添加剤「アデカシクロエイドUPRシリーズ」(UPR-001、UPR-011)

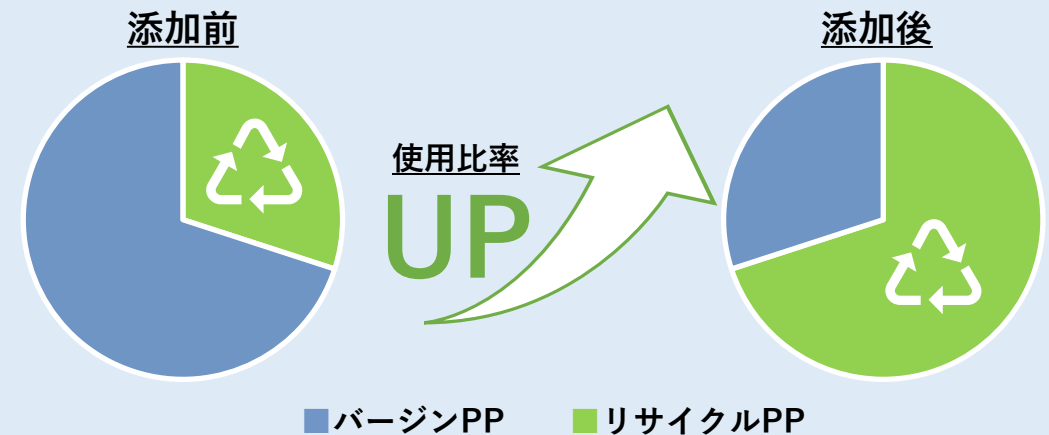
- リサイクル樹脂に**バージン材並み**、または**それ以上の機能を付与**
- 同等の**熱安定性 (樹脂の性能)**を維持したうえで複合材中のリサイクル材比率を**2倍以上**に

リサイクル材の適用用途の拡大へ貢献



より要求性能の高い用途への展開が可能に

リサイクル材の使用比率向上へ貢献



今後

市場の抱える様々な課題に応えるべく、ラインナップを拡充

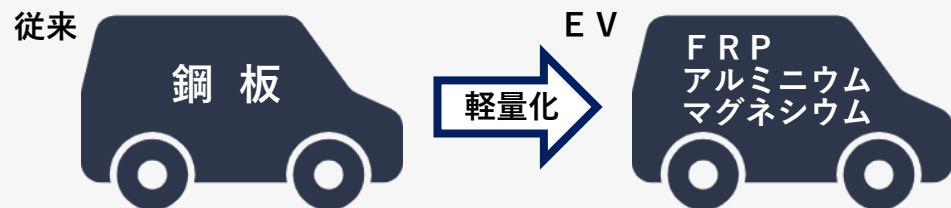
新製品開発 (機能化学品)

ターゲット

EV・FCVに伴う車体軽量化



環境貢献製品
AIV製品 (ADEKA Innovative Value)



車体のマルチマテリアル化により、「組立・接合・成形技術の進化」「生産性向上」が求められている

接合・接着 構造用接着剤「アデカレジン」シリーズ

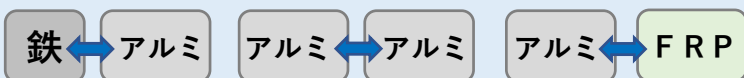
◆ 溶接から接着へのシフトを推進

異材質接着

溶接不要

環境負荷低減

➢ 様々な分野での市場開発を加速



成形 FRP用樹脂／成形プロセス

◆ FRP普及／成形工程の簡便化

● FRP用マトリクス樹脂

従来成形で車体をFRP化

● F to C(ファイバー to コンポジット)成形プロセス

金型不要

鋼板上に直接積層で組立不要

➢ 車体・他工業など用途展開を加速

EV・FCV化を可能にする
ADEKAの素財

今後

クルマのマルチマテリアル化における工程・材質切り替えによるシェア獲得を目指す

ターゲット

食品ロス削減、労働力不足解消、ニューノーマル



環境貢献製品
AIV製品 (ADEKA Innovative Value)

機能性マーガリン「マーベラス」シリーズ

(2020年販売開始)

売上実績
125%

当初
見込

2Q
実績

定着

大手製パンメーカー

消費期限延長効果

高評価

おいしさ持続 生産効率向上

「マーベラス」の機能性を有しつつ、

新たなニーズに対応しシリーズ拡充

2021年度 RISU BRAND新製品

● マーベラス S L (練込用)

マーベラスの機能
(おいしさ持続)

+

レンジアップ耐性
(加熱後も良食感)



チルド惣菜パン向け ▶ 巣ごもり・中食を訴求

● マーベラスアソシエ (ポンド)

マーベラスの機能
(おいしさ持続)

+

ベーカリーのこだわり
(風味・食感引き立て)



リテール向け ▶ 買い置き需要・計画生産を訴求

今後

「おいしさと食品ロス削減」プラスアルファのニーズに応え、高付加価値品を拡大

進行中の主な設備投資

千葉工場

情報・電子

光酸発生剤等 半導体周辺材料

対象

先端フォトレジスト

EUV・ArF露光による微細回路形成

稼働

2023年度中 予定



三重工場

機能化学品

エポキシ樹脂接着剤

対象

車載用電子部品

レーザー接着による高精度接着・固定

稼働

2023年9月 予定



ADEKA AL OTAIBA MIDDLE EAST

樹脂添加剤

ワンパック顆粒添加剤

対象

プラスチック製品

ポリオレフィン樹脂の高機能化

稼働

COVID-19影響

2022年度上期中 予定*



* 当初、2022年1月稼働予定

トピックス

2021年4月～

『A D E K Aグループ健康経営宣言』を表明

CSR 「人財活躍の機会拡大」

社員が**健康**でいきいきと
働ける環境づくりを推進



個人投資家の皆様に向けたIRフェアに初出展



< 予告 >

野村IR資産運用フェア2022
1/7金～1/8土
1/7(金) 8:00～ 1/31(月) 15:00 (24h)
オンライン開催

2021年11月2日

ADEKA KOREA、韓国政府から「産業褒章」受章

評価

樹脂添加剤

情報・電子

韓国・アジア産業の発展と、
地元 韓国全羅北道への地域貢献活動



2021年11月19日

東証・新市場区分対応

「プライム市場」を選択

▶ 申請準備中

3. ご参考

	2021年度予想 (中計 初年度)	2023年度 (中計 最終年度)
営業利益	310億円	350億円
R O E	8.5%	9%
設備投資額	150億円/年	500億円/3カ年
配当性向	30%以上維持	30%以上維持

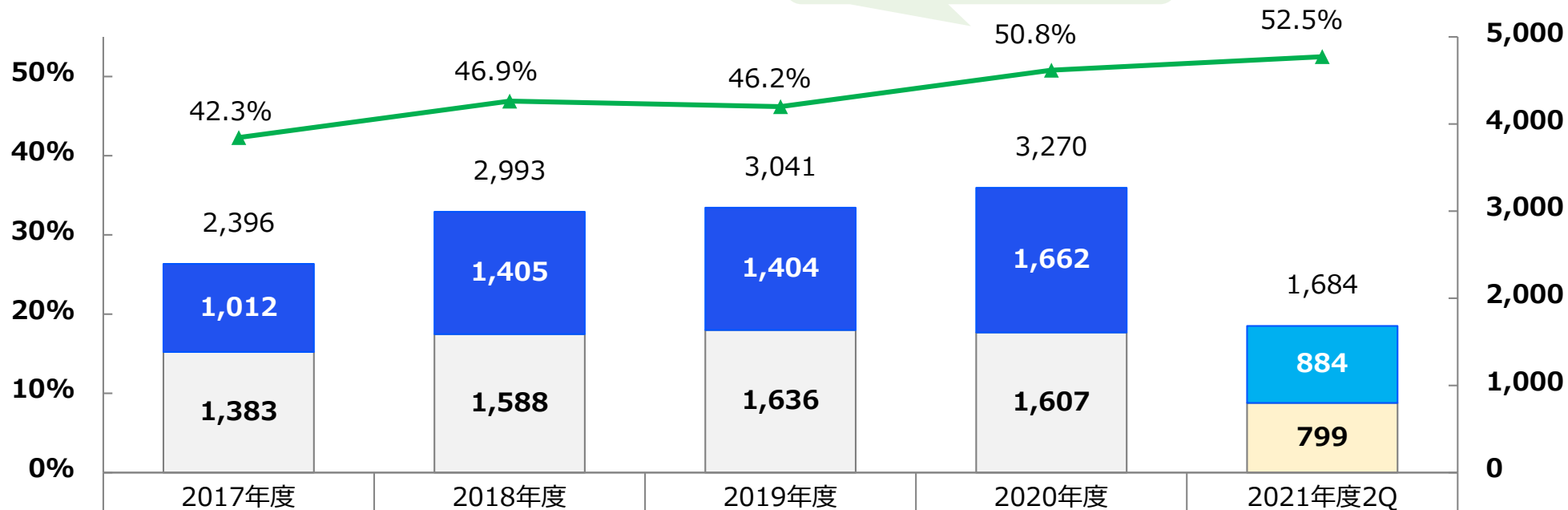
年間配当予想	(予) 56円 / 1株
--------	--------------

引き続き、修正の要否を検討

海外売上高（ご参考）

海外子会社10社の決算期統一の影響大

(単位：億円)



■ 海外売上高	1,012	1,405	1,404	1,662	884
■ 国内売上高	1,383	1,588	1,636	1,607	799
▲ 海外売上高比率	42.3%	46.9%	46.2%	50.8%	52.5%
売上高	2,396	2,993	3,041	3,270	1,684

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

The logo features the word "ADEKA" in a bold, italicized, red sans-serif font. The letter "A" is stylized with two blue diagonal strokes that cross it, one from the bottom-left to the top-right and another from the top-left to the bottom-right.

ADEKA

Add Goodness



2021年度上期

決算説明補足資料

取締役執行役員 志賀 洋二

1. 連結決算補足資料
2. 経営指標等
3. ご参考

1-1 連結貸借対照表

(単位：億円)	21/3月末	21/9月末	増減		21/3月末	21/9月末	増減
流動資産	2,555	2,634	79	負債	1,661	1,660	△ 1
現金及び預金	842	876	33	流動負債	1,072	1,018	△ 54
受取手形及び売掛金等	910	798	△ 112	固定負債	588	642	53
棚卸資産	697	843	145	純資産	2,714	2,792	77
その他	104	116	12	株主資本	2,120	2,199	78
固定資産	1,821	1,818	△ 2	資本金	229	230	0
有形固定資産	1,189	1,176	△ 12	資本剰余金	200	200	0
無形固定資産	161	166	5	利益剰余金	1,694	1,780	86
投資その他の資産	470	475	4	自己株式	△ 4	△ 12	△ 8
				その他の包括利益累計額	159	158	△ 1
				非支配株主持分	434	434	0
資産合計	4,376	4,452	76	負債・純資産合計	4,376	4,452	76

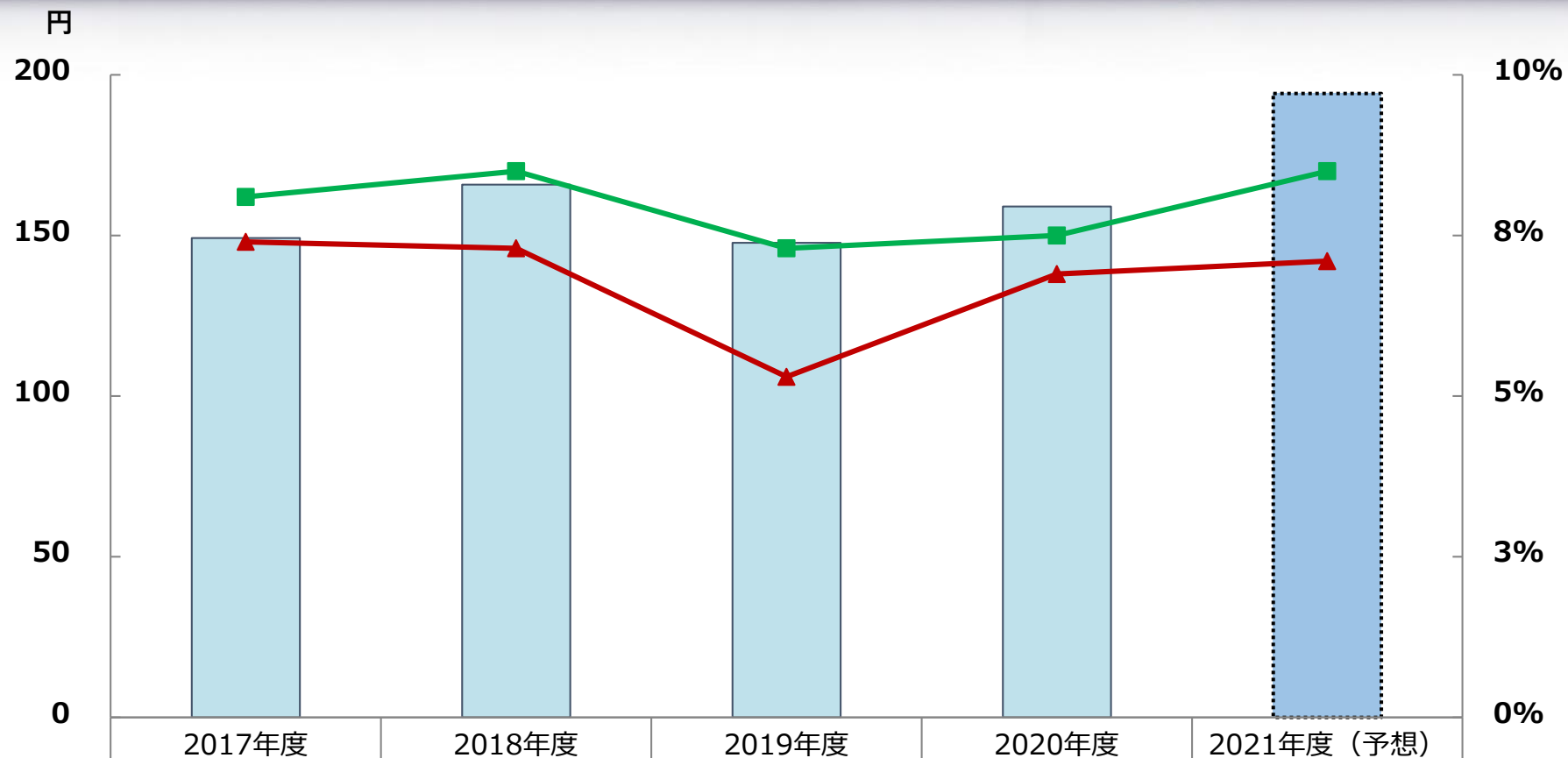
注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

1-2 キャッシュフロー計算書 (要約)

(単位：億円)

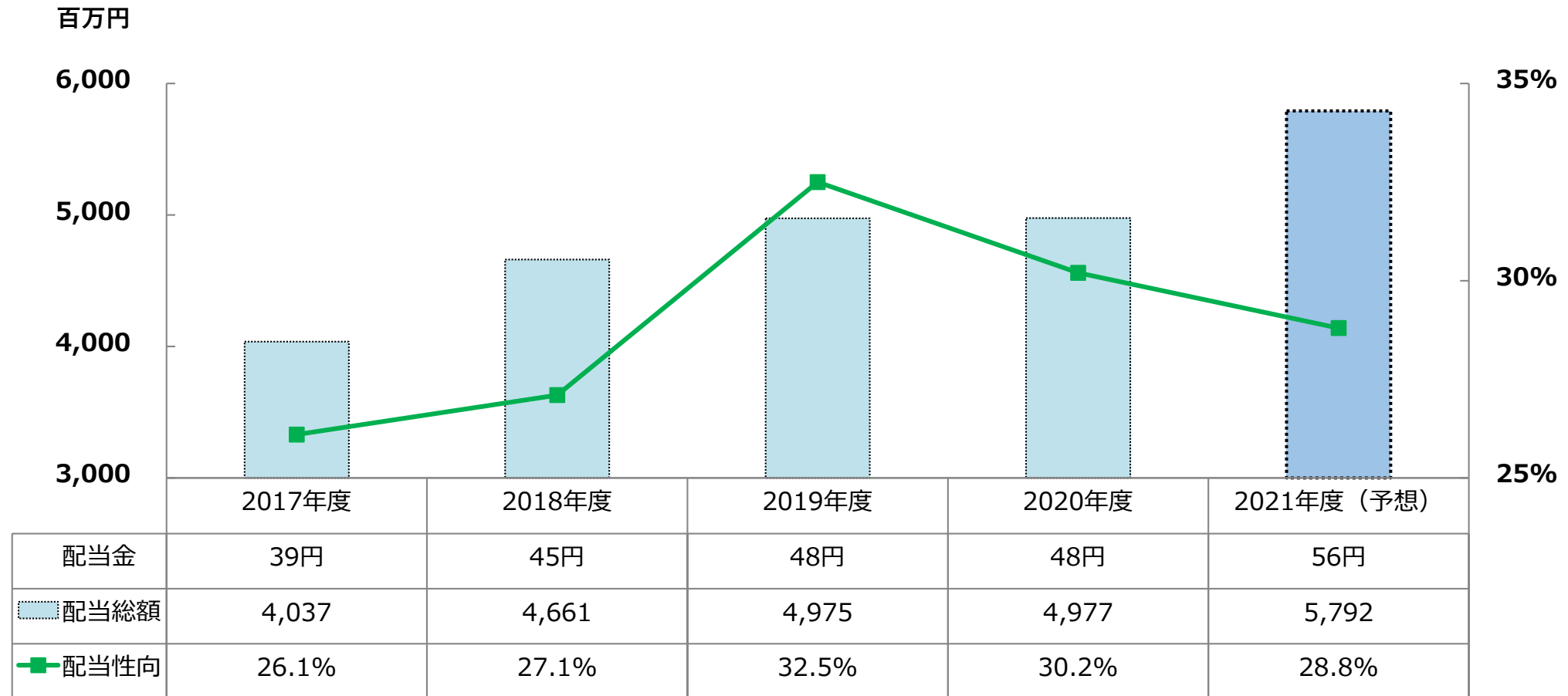
	前第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー	203	214
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 62	△ 54
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 71	△ 133
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 9	8
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	60	36
現金及び現金同等物の期首残高	608	821
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	39	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	708	857

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示



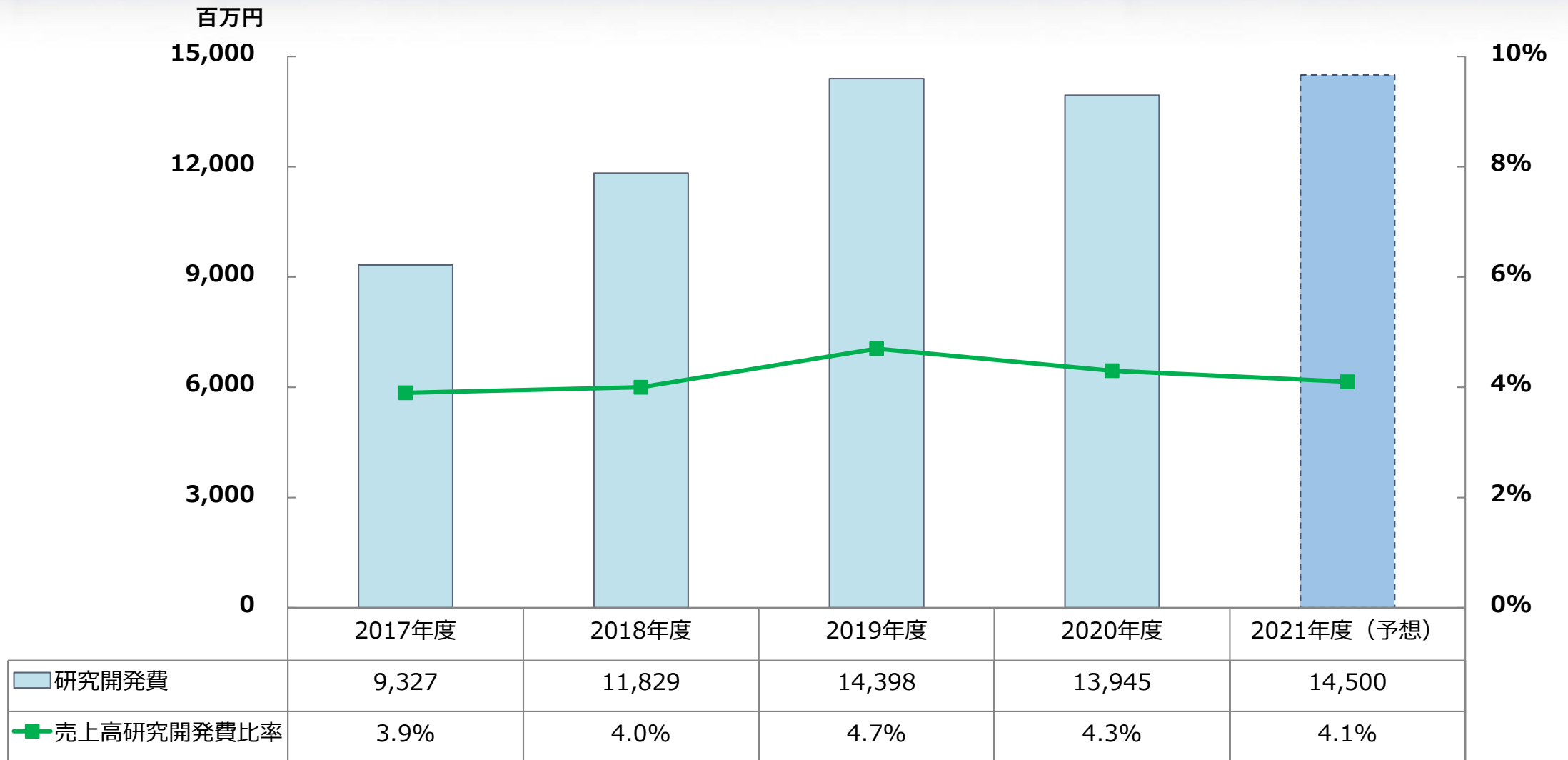
■ EPS (1株当り当期純利益)	149.2円	165.8円	147.7円	159.0円	194.2円
■ ROE (自己資本当期純利益率)	8.1%	8.5%	7.3%	7.5%	8.5%
▲ ROA (総資産経常利益率)	7.4%	7.3%	5.3%	6.9%	7.1%

2-2 配当金、配当性向

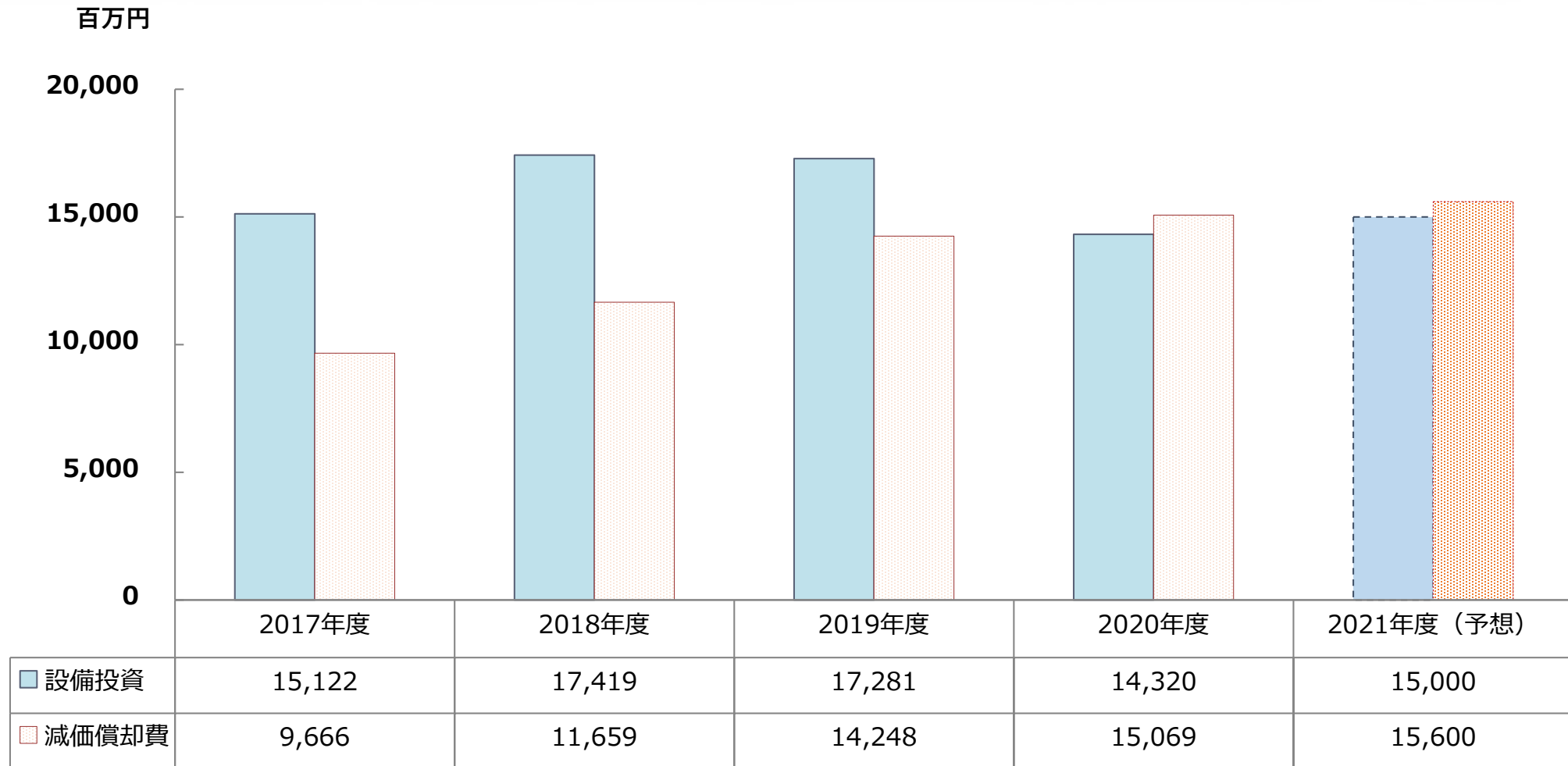


注) 配当総額は百万円未満を切り捨てて表示

2-3 研究開発費

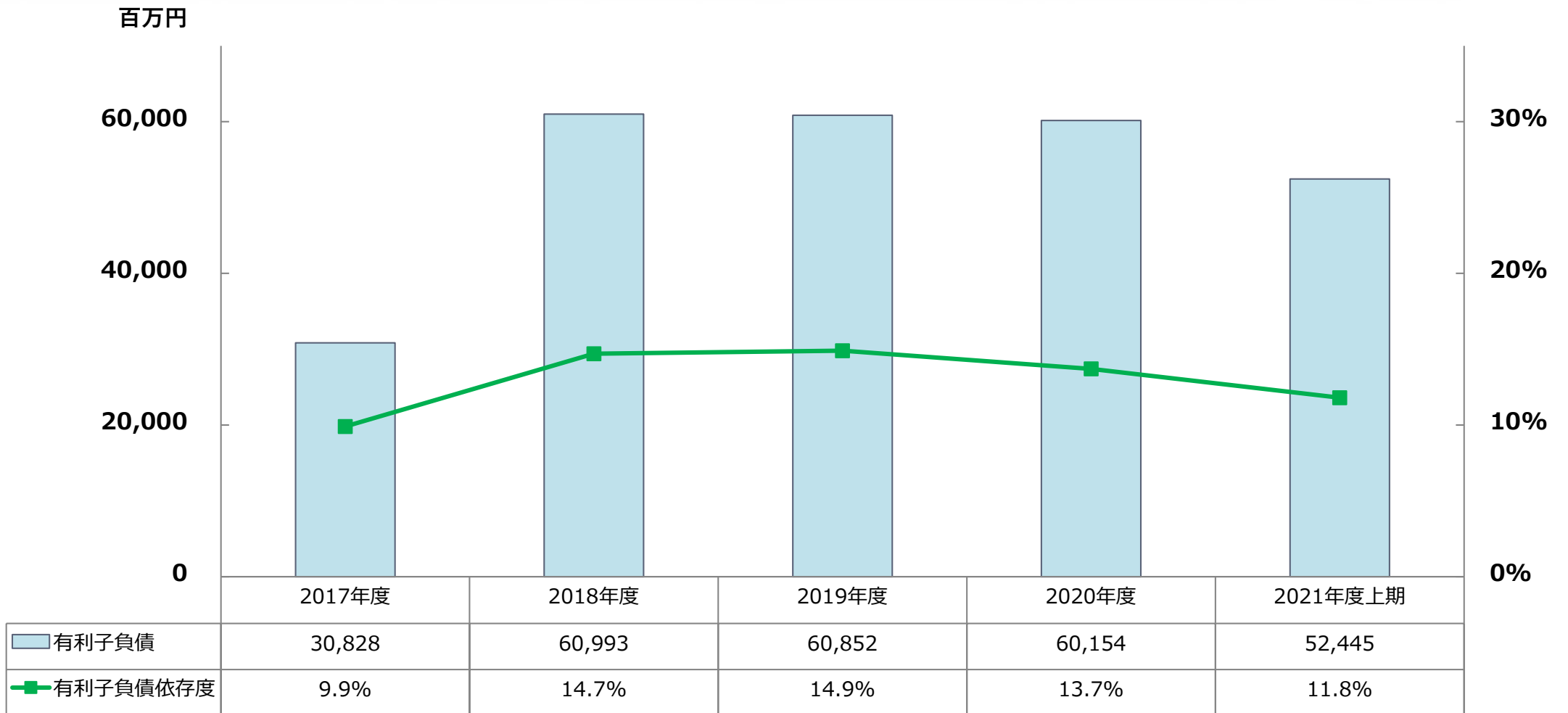


注) 研究開発費は百万円未満を切り捨てて表示



注) 設備投資、減価償却費は百万円未満を切り捨てて表示

2-5 有利子負債



注) 有利子負債は百万円未満を切り捨てて表示

3-1 単独・連結子会社の決算概要 (2021年度上期)

■ 単独
■ 連結

(単位：億円)

単独決算				
	2020年度 上期	2021年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	580	688	108	18.7
営業利益	36	82	45	124.6
経常利益	61	130	68	111.4
当期純利益	53	104	51	96.7
1株当たり 純利益	51.2	100.7		

国内 (11社)				
	2020年度 上期	2021年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	404	430	26	6.5
営業利益	5	8	3	67.9

海外 (18社)				
	2020年度 上期	2021年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	609	892	282	46.4
営業利益	30	61	30	100.6

日本農薬 (11社)				
	2020年度 上期	2021年度 上期	増減	増減率(%)
売上高	290	319	28	10.0
営業利益	15	15	△0	△0.8

連結調整 (消去他)		
	2020年度 上期	2021年度 上期
売上高	△498	△646
営業利益	1	△8

注) 金額は億円未満を切り捨てて表示

3-2 連結子会社概要（国内16社①）

セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
化学品	ADEKAケミカルサプライ(株)	104百万円	100.00 (間接所有5.57)	化学製品の販売、金属加工油等の開発、製造、販売
化学品	ADEKAクリーンエイド(株)	140百万円	100.00	業務用厨房用洗剤、工業用洗剤等の開発、販売
化学品	オキシラン化学(株)	600百万円	51.00	エポキシ系可塑剤等の製造、販売
食品	ADEKA食品販売(株)	42百万円	100.00	製菓・製パン用食用加工油脂、その他食品原料等の販売
食品	(株)ヨンゴー	18百万円	92.64	製菓・製パン業務用資材の卸売
食品	ADEKAファインフーズ(株)	50百万円	100.00	マヨネーズ類、油脂加工食品類、魚介類を使用した加工製品の製造、販売
食品	上原食品工業(株)	70百万円	100.00	フラワーペースト、餡類及びレトルト、調理食品の製造、販売
食品	(株)クラウン	10百万円	100.00	油脂類、製粉、香料など食品材料及び加工食品などの卸売

3-2 連結子会社概要（国内16社②）

セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
ライフサイエンス	日本農薬(株)	14,939百万円	51.00	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材用薬品、医療材料などの製造、販売
ライフサイエンス	(株)ニチノー緑化	160百万円	100.00 (間接所有100.00)	ゴルフ場用・家庭園芸用・緑化用薬剤の販売、芝・芝関連資材の販売、造園・芝生地的设计・施工など
ライフサイエンス	(株)ニチノーサービス	3,400百万円	100.00 (間接所有100.00)	農薬等の受託製造及び製造販売業、農薬等の保管・配送業務の請負、圃場・栽培管理の請負、不動産の管理業務など
ライフサイエンス	日本エコテック(株)	20百万円	100.00 (間接所有100.00)	農薬残留分析、化学物質の安全性試験など
ライフサイエンス	(株)アグリマート	50百万円	100.00 (間接所有100.00)	白蟻防除資材、防疫用殺虫剤等の販売など
その他	A D E K A 物流(株)	50百万円	100.00	当社物流の総元請、倉庫業、車輛等のリース
その他	A D E K A 総合設備(株)	130百万円	100.00	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス
その他	A D E K A ライフクリエイト(株)	65百万円	100.00 (間接所有20.00)	不動産の売買、仲介、管理、損保・生保代理業、OA機器職域販売、ビル・社宅等の管理運営

3-3 連結子会社概要（海外24社①）

国名	セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
米国	化学品	ADEKA USA CORP.	100万USD	100.00	化学製品の販売
米国	化学品	AMFINE CHEMICAL CORP.	1,600万USD	60.00	樹脂添加剤の製造、販売
米国	化学品	AM STABILIZERS CORP.	850万USD	100.00 (間接所有100.00)	樹脂添加剤の製造、販売
米国	ライフサイエンス	NICHINO AMERICA, INC.	70万USD	100.00 (間接所有100.00)	米国における農薬の販売、普及、開発、登録など
イギリス	ライフサイエンス	NICHINO EUROPE CO.,LTD	3万£	100.00 (間接所有100.00)	欧州における農薬の製造、販売など
ブラジル	ライフサイエンス	SIPCAM NICHINO BRASIL S.A.	22,389万BRL	50.00 (間接所有50.00)	ブラジルにおける農薬の製造、販売など
ドイツ	化学品	ADEKA EUROPE GMBH	50万EUR	100.00	化学製品の販売
フランス	化学品	ADEKA POLYMER ADDITIVES EUROPE SAS	300万EUR	100.00 (間接所有100.00)	樹脂添加剤の製造、販売
中国	化学品	艾迪科（中国）投資有限公司	3,100万USD	100.00	化学製品の販売
中国	化学品	艾迪科精細化工（上海）有限公司	2,050万USD	100.00	樹脂添加剤、機能性樹脂、電子材料等の製造、販売
中国	化学品	艾迪科精細化工（常熟）有限公司	2,154万USD	50.00	樹脂添加剤の製造、販売
中国	食品	艾迪科食品（常熟）有限公司	2,300万USD	70.00	加工油脂、加工食品の製造、販売
中国	化学品	艾迪科精細化工（浙江）有限公司	3,000万USD	100.00 (間接所有100.00)	樹脂添加剤など化学製品の製造、販売

3-3 連結子会社概要（海外24社②）

国名	セグメント	連結子会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
台湾	化学品	長江化学股份有限公司	3,000万NTD	50.50	樹脂添加剤及び可塑剤等の製造、販売
台湾	化学品	台湾艾迪科精密化学股份有限公司	2億NTD	100.00	化学製品の製造、販売
台湾	ライフサイエンス	日佳農葯股份有限公司	4,000万NTD	57.00 (間接所有57.00)	農薬の製造、販売
インド	ライフサイエンス	NICHINO INDIA PVT. LTD.	385万INR	100.00 (間接所有100.00)	インドにおける農薬の販売、製造、輸出入、普及、開発など
インド	ライフサイエンス	NICHINO CHEMICAL INDIA PVT. LTD.	1,050万INR	100.00 (間接所有100.00)	インドにおける農薬の製造、販売など
韓国	化学品	ADEKA KOREA CORP.	150億WON	100.00	化学製品等の製造、販売
タイ	化学品	ADEKA FINE CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.	3億5,000万THB	81.00	化学製品の製造、販売
シンガポール	化学品	ADEKA (ASIA) PTE.LTD.	80万USD	100.00	化学製品の販売
シンガポール	食品	ADEKA (SINGAPORE) PTE.LTD.	800 万SGD	90.00	加工油脂、冷凍パイ生地及び関連食品の製造、販売
マレーシア	食品	ADEKA FOODS (ASIA) SDN.BHD.	9,000万MYR	60.00	加工油脂の製造、販売
UAE	化学品	ADEKA AL OTAIBA MIDDLE EAST LLC	4,546万AED	49.00	樹脂添加剤の製造・販売、化学品等の販売

3-4 持分法適用会社概要

持分法適用会社	資本金	出資比率(%)	事業内容
(株)コープクリーン	80百万円	46.88	石鹼、洗剤等の開発、販売
昭和興産(株)	550百万円	21.78	合成樹脂、化学品、産業資材、情報電材、環境関連製品の販売
AGRICULTURAL CHEMICALS (MALAYSIA) SDN. BHD.	205万MYR	24.18 (間接所有24.18)	マレーシアにおける農薬の製造、販売
SIPCAM EUROPE S.P.A.	3,694万EUR	20.00 (間接所有20.00)	欧州における農薬の製造、販売
NICHINO VIETNAM CO.,LTD	226億8,000万VND	100.00 (間接所有100.00)	ベトナムにおける農薬の製造、販売
<u>タマ化学工業(株)</u>	126百万円	31.07 (間接所有31.07)	有機合成化学品の製造・販売

注) 下線は2021年度から持分法適用範囲に追加

3 事業区分別主力製品

事業区分		主要製品	
報告セグメント	化学品事業	樹脂添加剤	ポリオレフィン用添加剤、塩ビ用安定剤・可塑剤、難燃剤、その他
		情報・電子化学品	高純度半導体材料、電子回路基板エッチング装置及び薬剤、光硬化樹脂、光開始剤、画像材料、その他
		機能化学品	エポキシ樹脂、ポリウレタン原料、水系樹脂、界面活性剤、潤滑油添加剤、厨房用洗浄剤、化粧品原料、プロピレングリコール類、過酸化水素及び誘導品、水膨張性シール材、その他
	食品事業	マーガリン類、ショートニング、チョコレート用油脂、フライ・調理用油脂、ホイップクリーム、練込用クリーム、フィリング類、冷凍パイ生地、マヨネーズ・ドレッシング、機能性食品素材、その他	
	ライフサイエンス事業	農薬、医薬品、医薬部外品、動物用医薬品、木材用薬品、医療材料、その他	
その他	設備プラントの設計、工事及び工事管理、設備メンテナンス、物流業、倉庫業、車輛等リース、不動産業、保険代理業、その他		

業績予想・事業計画に関する注意事項

この資料に記載されている業績予想、事業計画は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び種々の前提に基づき作成したものであり、実際の結果は今後生ずる様々な要因によって、予想、計画と異なる場合があります。